

福祉社会教室と障害者福祉分野専門職との共同研究の成果報告

山本 眞一

私たち島根大学法文学部社会文化学科福祉社会教室は、地域貢献・連携を通して山陰地域における社会福祉活動・教育の拠点づくりを行うことを目標の1つとしています。その一環として、山陰グループホーム・スタッフ研修会の方々と共同で、知的障害者のグループホーム世話人の業務向上を目指した活動を展開しております。本誌はそうした地域貢献の成果の一部です。

今回、本誌 〃 章にあるように、グループホームにおける世話人業務の現状と問題点を検討するために、知的障害者グループホームを対象とした調査を実施いたしました。

大変お忙しい中、快く調査にご協力いただきました施設、世話人の皆様に厚くお礼申し上げます。グループホームの世話人のよりよいあり方と、利用者の一層充実した生活の実現への基礎資料となる実態報告書がまとまりましたので、ここに報告致します。

また、本誌 〃 章では、2006年9月16日に島根県民会館で開催いたしました「障害者の地域生活支援を考える」講演会での講演も掲載しております。長野県西駒郷地域生活支援センター所長、山田優氏の「長野県西駒郷における知的障害者の地域生活移行の取り組みとグループホームにおける支援」です。講演には、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部の前障害福祉課長、藤木則夫氏にも障害者自立支援法と障害者福祉のこれらについてお話しいただきました。ご来松いただいたお二人に感謝申し上げます。

本誌が、山陰地域や全国の知的障害者グループホームの支援に関わる皆様の業務向上への一助となれば幸いです。

なお、本調査報告は、2006年度島根大学政策的配分経費の成果の一部であります。

最後に、重ねてとなりますが、本調査に協力いただきました世話人の皆様、バックアップ施設の方々、並びにご講演いただいた山田氏、藤木氏に深くお礼申し上げます。